

要望しています ～笠岡市の未来のために～

平成30年度
決算認定
要望事項



予算・決算において
市に対し、議会から
要望を付しています

9月定例会では、笠岡市の平成30年度一般会計等の決算の審査・認定を行いました。一般会計の決算認定で一部反対がありましたが、8つの要望を付けて認定することとなりました。要望を市がどう取り扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。



防災力の さらなる強化を

機能する自主防災組織を目指し、女性リーダーや防災士が地域で活躍できる組織作り、高齢化している組織への運営支援を行うこと。

また、平成30年7月の豪雨災害への検証結果について公表し、今後の甚大な災害に対処できる防災計画を作成すること。



小中一貫教育に おける支援を

小中一貫教育を推進する中で、教員の支援とともに児童生徒の学力支援のため、地域内に限らず、退職された教職員の再任用を積極的に行うなど、広く人材を求めて、学校への支援の確保を行うこと。



市民にとって 安全な道路管理を

高齢化や交通量の増加に伴い、道路脇の草刈り等について、困難な状況になっている。路肩をコンクリート舗装にするなど、対策を年次的に行うこと。



適正な 補助金の交付を

人権・同和問題の早期解決を目指す運動団体に対する補助金について、廃止する方向で各団体との協議を進めているとのことであるが、廃止までの期限をしっかりと定め、公表すること。



地域おこし協力隊 の活動支援を

地域おこし協力隊員の活動の内容を広く市民に周知し、3年間の活動を市民全体で応援できるように、活動報告をする場を積極的につくること。

また、3年間の活動後も発展的な成果を見込めるような活動に対しては、さらにその支援が継続できるような助成制度を考えること。



生ごみ処理の さらなる促進を

生ごみ処理容器の設置に必要な経費の1/2を補助する事業について、さらなる普及促進により、ごみの減量化に対する市民の意識向上を図るため、補助金を増額すること。



持続的な経営を

下水道事業について、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上により、将来の安定した経営に努めること。



老朽化した建物の 適正な管理を

老朽化が著しい建物や設備について、計画的に撤去・解体を行っていくとともに、土地の有効活用を図り、周辺地域の環境改善に努めること。